

茨城県で太陽光発電施設のケーブル盗難に注意喚起！！

～金属価格高騰を受け金属盗被害が多発～

日本損害保険協会関東支部茨城損保会(会長:河上 精二 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 茨城支店 理事 支店長)では、茨城県内で太陽光発電施設での銅線ケーブル等の盗難が多発している状況を踏まえ、茨城県警察本部と連携して盗難に注意喚起するチラシを作成しました。

金属価格が高騰する中、全国的に金属盗難件数が増加しています。中でも茨城県の盗難認知件数は、3年連続全国ワースト1位となっており、2022(令和4年)の1年間に全国で発生した金属盗難10,368件のうち茨城県内の件数は1,632件と、全体の15%にも及んでいます。特に太陽光発電施設での銅線ケーブル等の盗難が多発しており、今年上半期に県内で発生した金属盗難件数1,181件のうち太陽光発電施設でのケーブル盗難は567件と約半数を占めています。

太陽光発電施設は、市街地から離れた人目につかない場所にあることが多いことから狙われやすくなっており、発電した電気を送る銅線ケーブルが切断されたり引き抜かれたりして盗まれるなどして、高額な被害が発生しています。

チラシでは、施設面での対策として監視カメラ・防犯ライト・フェンスセンサーなどの警報装置の設置を、運営面の対策として、こまめに見回りなどを行うことにより、盗難しにくいと思わせる施設づくりを呼び掛けています。

当支部では、今後も警察や関係各所と協力し、安全で安心な街づくりに向けた活動を推進していきます。

CAUTION!!
茨城県で太陽光発電施設のケーブル盗難が多発中

金属盗難認知件数 全国ワースト1位

金属盗難認知件数
全国では2倍近く増加

2020年 1337
2021年 1227
2022年 1632

茨城県 5478
全国 7534
10368

茨城県は3年連続 全国ワースト1位

盗難を防止するための対策

設備面での対策

- ケーブルは地中に埋める
- 監視カメラや防犯ライトの設置
- 高いフェンスや有刺鉄線の設置
- フェンスセンサー・機械装置・警報装置の導入

運営面での対策

- こまめな見回りを
- 早回りをして見直しをよく
- 定期的なメンテナンスで異常の早期発見を

※高圧電線に近づくと電撃死の危険があります。出力10kW以上の太陽光発電設備については、「発電機による発電機事故等」での修繕や部品及び配線に傷入、火災保険や損害保険、第三者賠償責任保険等に加入することが努力義務化されています。設備の修繕については、損害保険会社または事業者の修繕業者に相談ください。

不審な人物・車両を見かけたらすぐに110番通報を!!

茨城県警察 一般社団法人日本損害保険協会関東支部茨城損保会

注意喚起チラシ



金属盗発生状況

* 以下 URL からチラシ (PDF) をダウンロードいただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2023/pdf/231025_chirashi.pdf